

## VI 今までに紹介した以外の安全衛生機関、団体等の組織、活動等について

英国には多くの民間団体が、労働安全衛生に関する普及啓発、教育訓練、技術的資料の作成発行、コンサルタントなどを行っている。これらのうち、主なものについて、次に紹介する。

### 1 イギリス安全衛生評議会(The British Safety Council (略称：BSC)：ウェブサイト：<https://www.britsafe.org/> )

1957年に設立され、法人会員数約6,000(英国以外の60カ国以上での会員をも含む。)で、政府登録の慈善的団体として金銭的寄付の免税措置を受けている。労働安全衛生に関する多くの教育訓練コース(通信教育コース(e-learning)を含む。)を設置・運営しており、そのうちでよく知られているのは、National Examination Board for Occupational Safety and Health(略称：NEBOSH)での修了の認定が得られる、約2週間以上の安全衛生専門家の教育訓練コース(修了試験を含む。)である。

### 2 王立災害防止協会(The Royal Society for the Prevention of Accidents；(略称:RoSPA:ウェブサイト：<http://www.rospa.com/about/mission-vision/> )

1917年に道路交通安全運動で発足し、現在でもその分野には力を入れているが、それ以外に職場、家庭、学校、水上でのスポーツ活動及びレジャーを含む多くの安全の分野で教育訓練、情報提供、助言、コンサルタント等を幅広く行っている。

### 3 イギリス労働衛生工学会(British Occupational Hygiene Society:略称：BOHS：ウェブサイトは、<http://www.bohs.org/aboutus/>

専門家としての認証を受けた労働衛生工学専門家(Qualified Occupational Hygienists)を組織している英国で唯一の専門団体で、王室からの許可状を授与されている学会(Chartered Society)である。その運営するThe Faculty of Occupational Hygiene(労働衛生工学部)では、高度の専門的能力を有するOccupational Hygienistを教育訓練する研修コースを運営(修了試験を含む。)しており、そのコースを修了して修了試験に合格した者に対しては、その旨の認証(Certificate)及び修了証(Diploma qualifications)を授与している。また、国際労働衛生工学協会(International Occupational Hygiene Association：略称 IOHA)の創立(1987年)以来、その事務局として活動している。

### 4 イギリス規格協会(British Standards Institute (略称：BSI)：ウェブサイトは、<http://www.bsigroup.com/en-GB/> )

1901年に設立された世界的にみても最も伝統のある標準化団体で、各種の工業的標準のほか、品質管理、環境管理、労働安全衛生等に関するBS規格等を策定している。また、生産物や商品の品質保証及びEUの機械指令に基づくCEマークの付与等の認証業務も行っている。